

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成23年10月12日
【四半期会計期間】	第54期第2四半期（自平成23年6月1日至平成23年8月31日）
【会社名】	株式会社ダイセキ
【英訳名】	Daiseki Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 伊藤 博之
【本店の所在の場所】	名古屋市港区船見町1番地86
【電話番号】	052(611)6322
【事務連絡者氏名】	代表取締役副社長 柱 秀貴
【最寄りの連絡場所】	名古屋市港区船見町1番地86
【電話番号】	052(611)6322
【事務連絡者氏名】	代表取締役副社長 柱 秀貴
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) 株式会社名古屋証券取引所 (名古屋市中区栄三丁目8番20号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第53期 第2四半期連結 累計期間	第54期 第2四半期連結 累計期間	第53期 第2四半期連結 会計期間	第54期 第2四半期連結 会計期間	第53期
会計期間	自平成22年 3月1日 至平成22年 8月31日	自平成23年 3月1日 至平成23年 8月31日	自平成22年 6月1日 至平成22年 8月31日	自平成23年 6月1日 至平成23年 8月31日	自平成22年 3月1日 至平成23年 2月28日
売上高(百万円)	15,016	19,168	7,527	10,041	31,477
経常利益(百万円)	2,899	3,543	1,338	1,879	5,587
四半期(当期)純利益(百万円)	1,664	1,965	768	1,022	3,114
純資産額(百万円)	-	-	45,120	47,720	46,177
総資産額(百万円)	-	-	52,510	56,667	54,435
1株当たり純資産額(円)	-	-	953.99	1,009.55	977.07
1株当たり四半期(当期)純利益(円)	36.96	43.63	17.05	22.71	69.15
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益(円)	-	-	-	-	-
自己資本比率(%)	-	-	81.8	80.2	80.8
営業活動による キャッシュ・フロー(百万円)	3,021	2,689	-	-	5,476
投資活動による キャッシュ・フロー(百万円)	387	1,123	-	-	3,324
財務活動による キャッシュ・フロー(百万円)	563	858	-	-	1,258
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(百万円)	-	-	19,074	18,605	17,897
従業員数(人)	-	-	658	730	722

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2【事業の内容】

当第2四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 3【関係会社の状況】

当第2四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

## 4【従業員の状況】

### (1) 連結会社の状況

平成23年8月31日現在

従業員数（人）	730
---------	-----

（注）従業員数は、就業人員（当社グループからグループ外への出向者を除き、グループ外から当社グループへの出向者を含む。）であります。

### (2) 提出会社の状況

平成23年8月31日現在

従業員数（人）	509
---------	-----

（注）従業員数は、就業人員（当社から社外への出向者を除き、社外から当社への出向者を含む。）であります。

## 第2【事業の状況】

### 1【生産、受注及び販売の状況】

当社グループのセグメントは、「第5 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおり、「環境関連事業」単一であります。

#### (1) 生産実績

当第2四半期連結会計期間における生産実績は、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結会計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)	前年同四半期比(%)
環境関連事業(百万円)	9,560	-

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。  
2. 処理実績等にて記載しております。  
3. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

#### (2) 商品仕入実績

当第2四半期連結会計期間における商品仕入実績は、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結会計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)	前年同四半期比(%)
環境関連事業(百万円)	343	-

- (注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

#### (3) 受注状況

当第2四半期連結会計期間における受注状況は、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同四半期比(%)	受注残高(百万円)	前年同四半期比(%)
環境関連事業	8,902	-	1,707	-

- (注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

#### (4) 販売実績

当第2四半期連結会計期間における販売実績は、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結会計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)	前年同四半期比(%)
環境関連事業(百万円)	10,041	-

- (注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

### 2【事業等のリスク】

当第2四半期連結会計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。

また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 3【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 4【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結会計期間において、本年3月11日に発生した東日本大震災の影響により大きく落ち込んだ日本経済は回復局面を迎えることとなりました。しかしながらその水準は震災前に届かず、さらには原発事故に端を発した電力不足、急速な円高及び世界経済の先行き不透明感など内外の問題が山積し、今後の日本経済の回復に關しての不透明感はむしろ強まってくる状況となりました。

当社グループの主力事業である産業廃棄物中間処理・リサイクル事業におきましては、震災被害を受けた関東・東北地方の工場の復旧作業の支援は減少いたしました。反面、震災により被害を受けたサプライチェーンの回復等により自動車を中心とした国内主要製造業の生産回復がみられ、大きく落ち込んだ自動車関連業界からの受注は回復しつつあります。しかしながら、世界経済の減速によりエレクトロニクス産業の生産はむしろ減少傾向となり、同業界からの受注は減少傾向となっております。このように、国内製造業の生産回復には業界により大きくばらつきが見られ、当社の受注も急回復とはならず、ほぼ第1四半期と同水準の業績となりました。対して、当社グループ企業である土壌汚染の調査・分析・処理事業を行う株式会社ダイセキ環境ソリューションにおきましては、昨年度前半に底をつけたあと順調に回復しつつある国内土壌汚染関連市場の中での積極的な営業展開とダイセキグループとしてのシナジー効果により、当第2四半期連結会計期間も大幅な増収増益となりました。

一方、鉛リサイクル事業を行う株式会社ダイセキMCRにおきましては、震災の影響による点検や修繕等により一部期間の生産が不安定となりましたが、それ以外では引続き稼働率はほぼ100%で推移いたしました。このため、鉛事業の業績は、鉛の販売価格と使用済バッテリーの仕入価格により大きく左右される状況が続きました。こうした状況下、LME鉛相場はほぼ想定どおり推移しましたが、急速な円高により国内鉛市場は下落し、その影響により第2四半期は第1四半期と比較し減益となりました。なお、平成22年9月より連結子会社となりました大型タンク洗浄の大手であるシステム機工株式会社におきましては、震災の影響により第1四半期から第2四半期にずれ込んだ案件も順調にこなし、さらにはダイセキグループ各社とのシナジー効果も出始めたことにより、業績も第1四半期を大きく上回ることとなりました。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間の業績は、売上高10,041百万円（前年同四半期比33.3%増）、経常利益1,879百万円（同40.3%増）、四半期純利益1,022百万円（同33.1%増）と増収増益を確保いたしました。

当社グループは、環境関連事業から構成される単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、第1四半期連結会計期間末に比べ1,399百万円増加し18,605百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、主に売上債権の増加額257百万円等があったものの、税金等調整前四半期純利益1,881百万円、減価償却費358百万円等により、総額では2,330百万円（前年同四半期比68.3%増）の収入となりました。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有形固定資産の取得による支出575百万円等により、総額では562百万円（同105.4%増）の支出となりました。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、主に短期借入金の純減少額275百万円等により、総額では368百万円（同490.1%増）の支出となりました。

#### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結会計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (4) 研究開発活動

当第2四半期連結会計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、19百万円であります。

なお、当第2四半期連結会計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第2四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第2四半期連結会計期間において、前四半期連結会計期間末に計画中であった重要な設備の新設、除却等について、重要な変更はありません。また、新たに確定した重要な設備の新設、拡充、改修、除却、売却等の計画はありません。

## 第4【提出会社の状況】

### 1【株式等の状況】

#### (1)【株式の総数等】

##### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	79,200,000
計	79,200,000

##### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成23年8月31日)	提出日現在発行数(株) (平成23年10月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	45,124,954	45,124,954	東京証券取引所 名古屋証券取引所 各市場第一部	単元株式数 100株
計	45,124,954	45,124,954	-	-

#### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

#### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

#### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

#### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増 減額(百万円)	資本準備金残 高(百万円)
平成23年6月1日～ 平成23年8月31日	-	45,124,954	-	6,382	-	7,051

(6)【大株主の状況】

平成23年8月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	東京都中央区晴海1丁目8番11号	4,504	9.98
TAIYO FUND, L.P. (常 任代理人シティバンク銀行株式会社)	40 RAGSDALE DRIVE, S UITE 200 MONTEREY, C A 93940 USA (東京都品川区東品川2丁目3番14号)	4,238	9.39
山本 哲也	愛知県岩倉市	2,066	4.57
伊藤 博之	名古屋市緑区	2,015	4.46
ジェーピーモルガンチェースバンク (常任代理人株式会社みずほコーポレー ト銀行決済営業部)	125 LONDON WALL, LOND ON EC2Y 5AJ, U.K. (東京都中央区月島4丁目16番13号)	1,669	3.69
資産管理サービス信託銀行株式会社	東京都中央区晴海1丁目8番12号 晴海アイランドトリトンスクエアオフィス タワーZ棟	1,525	3.38
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	東京都港区浜松町2丁目11番3号	1,493	3.31
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2丁目7番1号	1,323	2.93
伊藤 喜代子	名古屋市緑区	1,193	2.64
有限会社喜峰	名古屋市緑区ほら貝3丁目103	1,045	2.31
計	-	21,075	46.70

(注) 上記日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社、資産管理サービス信託銀行株式会社及び日本マスタートラスト信託銀行株式会社の所有株式数は、すべて信託業務に係るものであります。



(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成23年8月31日現

在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 83,100	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 44,787,300	447,873	-
単元未満株式	普通株式 254,554	-	-
発行済株式総数	45,124,954	-	-
総株主の議決権	-	447,873	-

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が1,900株含まれております。また、「議決権の数」の欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数19個が含まれております。

【自己株式等】

平成23年8月31日現

在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社ダイセキ	名古屋市港区船見町1番地86	83,100	-	83,100	0.18
計	-	83,100	-	83,100	0.18

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成23年3月	4月	5月	6月	7月	8月
最高(円)	1,677	1,772	1,725	1,645	1,658	1,555
最低(円)	1,150	1,461	1,505	1,570	1,508	1,363

(注) 最高・最低株価は、東京証券取引所市場第一部におけるものであります。

3 【役員状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までにおいて、役員の変動はありません。

## 第5【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号、以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、前第2四半期連結会計期間（平成22年6月1日から平成22年8月31日まで）及び前第2四半期連結累計期間（平成22年3月1日から平成22年8月31日まで）は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第2四半期連結会計期間（平成23年6月1日から平成23年8月31日まで）及び当第2四半期連結累計期間（平成23年3月1日から平成23年8月31日まで）は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第2四半期連結会計期間（平成22年6月1日から平成22年8月31日まで）及び前第2四半期連結累計期間（平成22年3月1日から平成22年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表並びに当第2四半期連結会計期間（平成23年6月1日から平成23年8月31日まで）及び当第2四半期連結累計期間（平成23年3月1日から平成23年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	18,623	17,917
受取手形及び売掛金	6,938	5,966
たな卸資産	<sup>1</sup> 1,750	<sup>1</sup> 1,346
繰延税金資産	272	263
その他	299	717
貸倒引当金	19	20
流動資産合計	27,864	26,191
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,221	4,412
機械装置及び運搬具(純額)	1,695	1,804
土地	10,263	10,047
建設仮勘定	450	250
その他(純額)	195	106
有形固定資産合計	<sup>2</sup> 16,826	<sup>2</sup> 16,620
無形固定資産		
のれん	2,106	2,241
その他	279	285
無形固定資産合計	2,385	2,527
投資その他の資産		
投資有価証券	6,277	5,811
繰延税金資産	717	674
その他	2,597	2,616
貸倒引当金	2	7
投資その他の資産合計	9,590	9,094
固定資産合計	28,802	28,243
資産合計	56,667	54,435

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,148	2,403
短期借入金	845	1,120
未払法人税等	1,579	1,521
賞与引当金	292	221
その他	1,763	1,666
流動負債合計	7,630	6,932
固定負債		
長期借入金	268	353
退職給付引当金	746	718
役員退職慰労引当金	255	244
その他	47	7
固定負債合計	1,316	1,324
負債合計	8,946	8,257
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,382	6,382
資本剰余金	7,051	7,051
利益剰余金	32,024	30,532
自己株式	127	126
株主資本合計	45,331	43,839
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	140	170
評価・換算差額等合計	140	170
少数株主持分	2,248	2,168
純資産合計	47,720	46,177
負債純資産合計	56,667	54,435

( 2 ) 【四半期連結損益計算書】  
【第 2 四半期連結累計期間】

( 単位：百万円 )

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年 3 月 1 日 至 平成22年 8 月31日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 3 月 1 日 至 平成23年 8 月31日)
売上高	15,016	19,168
売上原価	10,161	13,346
売上総利益	4,855	5,822
販売費及び一般管理費	2,031	2,355
営業利益	2,824	3,466
営業外収益		
受取利息	67	68
受取配当金	5	8
その他	16	15
営業外収益合計	90	91
営業外費用		
支払利息	5	4
固定資産賃貸費用	9	8
その他	0	1
営業外費用合計	14	14
経常利益	2,899	3,543
特別利益		
固定資産売却益	1	6
投資有価証券売却益	0	-
貸倒引当金戻入額	-	0
特別利益合計	1	7
特別損失		
固定資産売却損	-	0
固定資産除却損	9	5
投資有価証券評価損	2	3
特別損失合計	11	8
税金等調整前四半期純利益	2,889	3,542
法人税、住民税及び事業税	1,286	1,544
法人税等調整額	66	43
法人税等合計	1,220	1,501
少数株主損益調整前四半期純利益	-	2,041
少数株主利益	4	75
四半期純利益	1,664	1,965

## 【第2四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)
売上高	7,527	10,041
売上原価	5,204	7,015
売上総利益	2,322	3,025
販売費及び一般管理費	1,022	1,191
営業利益	1,300	1,833
営業外収益		
受取利息	34	35
受取配当金	5	7
その他	6	9
営業外収益合計	46	52
営業外費用		
支払利息	2	2
固定資産賃貸費用	5	4
その他	0	0
営業外費用合計	7	6
経常利益	1,338	1,879
特別利益		
固定資産売却益	1	4
投資有価証券評価損戻入益	0	1
特別利益合計	1	6
特別損失		
固定資産売却損	-	0
固定資産除却損	7	3
特別損失合計	7	3
税金等調整前四半期純利益	1,333	1,881
法人税、住民税及び事業税	546	778
法人税等調整額	13	30
法人税等合計	559	808
少数株主損益調整前四半期純利益	-	1,073
少数株主利益	5	50
四半期純利益	768	1,022

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,889	3,542
減価償却費	755	700
のれん償却額	97	135
貸倒引当金の増減額(は減少)	6	6
賞与引当金の増減額(は減少)	28	71
退職給付引当金の増減額(は減少)	20	27
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	7	10
受取利息及び受取配当金	73	76
支払利息	5	4
固定資産売却損益(は益)	1	6
固定資産除却損	9	5
投資有価証券評価損益(は益)	2	3
売上債権の増減額(は増加)	460	936
たな卸資産の増減額(は増加)	96	403
仕入債務の増減額(は減少)	272	818
未払金の増減額(は減少)	31	27
未払消費税等の増減額(は減少)	75	9
その他	38	47
小計	3,621	3,918
利息及び配当金の受取額	73	73
利息の支払額	5	4
法人税等の支払額	667	1,297
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,021	2,689
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	20	13
定期預金の払戻による収入	10	15
投資有価証券の取得による支出	89	493
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	1	100
保険積立金の積立による支出	52	15
保険積立金の解約による収入	0	0
有形固定資産の取得による支出	194	794
有形固定資産の売却による収入	83	56
無形固定資産の取得による支出	8	0
長期貸付けによる支出	127	0
その他	8	22
投資活動によるキャッシュ・フロー	387	1,123

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額（は減少）	50	275
長期借入金の返済による支出	155	85
配当金の支払額	424	478
少数株主への配当金の支払額	32	11
自己株式の処分による収入	0	0
自己株式の取得による支出	0	0
その他	0	7
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>563</b>	<b>858</b>
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	2,069	707
現金及び現金同等物の期首残高	17,004	17,897
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,074	18,605



【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)
会計処理基準に関する事項 の変更	資産除去債務に関する会計基準の適用 第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準 第18号平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」 (企業会計基準適用指針第21号平成20年3月31日)を適用しております。 これによる損益への影響はありません。

【表示方法の変更】

	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)
(四半期連結損益計算書)	「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式 及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日内閣府令第5号)の適用により、当第 2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

	当第2四半期連結会計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)
(四半期連結損益計算書)	「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式 及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日内閣府令第5号)の適用により、当第 2四半期連結会計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第2四半期連結会計期間末 (平成23年8月31日)	前連結会計年度末 (平成23年2月28日)																												
<p>1. たな卸資産の内訳は次のとおりであります。</p> <p style="text-align: right;">(百万円)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">商品及び製品</td> <td style="text-align: right;">548</td> </tr> <tr> <td>仕掛品</td> <td style="text-align: right;">804</td> </tr> <tr> <td>原材料及び貯蔵品</td> <td style="text-align: right;">396</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">1,750</td> </tr> </table> <p>2. 有形固定資産の減価償却累計額は、17,492百万円であります。</p> <p>3. 当社及び連結子会社(北陸ダイセキ株式会社及び株式会社ダイセキ環境ソリューション)においては、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行と当座貸越契約を締結しております。この契約に基づく当第2四半期連結会計期間末の借入未実行残高は次のとおりであります。</p> <p style="text-align: right;">(百万円)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">当座貸越極度額</td> <td style="text-align: right;">4,720</td> </tr> <tr> <td>借入実行残高</td> <td style="text-align: right;">675</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">差引額</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">4,045</td> </tr> </table>	商品及び製品	548	仕掛品	804	原材料及び貯蔵品	396	計	1,750	当座貸越極度額	4,720	借入実行残高	675	差引額	4,045	<p>1. たな卸資産の内訳は次のとおりであります。</p> <p style="text-align: right;">(百万円)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">商品及び製品</td> <td style="text-align: right;">556</td> </tr> <tr> <td>仕掛品</td> <td style="text-align: right;">434</td> </tr> <tr> <td>原材料及び貯蔵品</td> <td style="text-align: right;">355</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">1,346</td> </tr> </table> <p>2. 有形固定資産の減価償却累計額は、16,937百万円であります。</p> <p>3. 当社及び連結子会社(北陸ダイセキ株式会社及び株式会社ダイセキ環境ソリューション及びシステム機工株式会社)においては、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行と当座貸越契約を締結しております。この契約に基づく当連結会計年度末の借入未実行残高は次のとおりであります。</p> <p style="text-align: right;">(百万円)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">当座貸越極度額</td> <td style="text-align: right;">4,870</td> </tr> <tr> <td>借入実行残高</td> <td style="text-align: right;">950</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">差引額</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">3,920</td> </tr> </table>	商品及び製品	556	仕掛品	434	原材料及び貯蔵品	355	計	1,346	当座貸越極度額	4,870	借入実行残高	950	差引額	3,920
商品及び製品	548																												
仕掛品	804																												
原材料及び貯蔵品	396																												
計	1,750																												
当座貸越極度額	4,720																												
借入実行残高	675																												
差引額	4,045																												
商品及び製品	556																												
仕掛品	434																												
原材料及び貯蔵品	355																												
計	1,346																												
当座貸越極度額	4,870																												
借入実行残高	950																												
差引額	3,920																												

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。
(百万円)	(百万円)
給料手当及び賞与 605	給料手当及び賞与 688
賞与引当金繰入額 98	賞与引当金繰入額 116
退職給付費用 38	退職給付費用 53
役員退職慰労引当金繰入額 7	役員退職慰労引当金繰入額 10
貸倒引当金繰入額 7	

前第2四半期連結会計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。
(百万円)	(百万円)
給料手当及び賞与 267	給料手当及び賞与 323
賞与引当金繰入額 85	賞与引当金繰入額 91
退職給付費用 19	退職給付費用 27
役員退職慰労引当金繰入額 5	役員退職慰労引当金繰入額 5
貸倒引当金繰入額 6	貸倒引当金繰入額 0

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係	現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係
(百万円)	(百万円)
現金及び預金勘定 19,094	現金及び預金勘定 18,623
預入期間が3か月を超える定期預金 19	預入期間が3か月を超える定期預金 17
現金及び現金同等物 19,074	現金及び現金同等物 18,605

(株主資本等関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成23年8月31日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成23年3月1日至平成23年8月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数

普通株式 45,124,954株

2. 自己株式の種類及び株式数

普通株式 83,188株

3. 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年5月26日 定時株主総会	普通株式	472	10.5	平成23年2月28日	平成23年5月27日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年10月11日 取締役会	普通株式	450	10	平成23年8月31日	平成23年11月9日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自平成22年6月1日至平成22年8月31日)

環境部門の売上高及び営業利益は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

前第2四半期連結累計期間(自平成22年3月1日至平成22年8月31日)

環境部門の売上高及び営業利益は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自平成22年6月1日至平成22年8月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

前第2四半期連結累計期間(自平成22年3月1日至平成22年8月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第2四半期連結会計期間（自平成22年6月1日至平成22年8月31日）

海外売上高がないため該当事項はありません。

前第2四半期連結累計期間（自平成22年3月1日至平成22年8月31日）

海外売上高がないため該当事項はありません。

【セグメント情報】

当社グループは、環境関連事業から構成される単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日)を適用しております。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

当第2四半期連結会計期間末 (平成23年8月31日)	前連結会計年度末 (平成23年2月28日)
1株当たり純資産額 1,009.55円	1株当たり純資産額 977.07円

2. 1株当たり四半期純利益

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)
1株当たり四半期純利益 36.96円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、 潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり四半期純利益 43.63円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、 潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)
四半期純利益(百万円)	1,664	1,965
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(百万円)	1,664	1,965
普通株式の期中平均株式数(千株)	45,042	45,041

前第2四半期連結会計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)
1株当たり四半期純利益 17.05円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、 潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり四半期純利益 22.71円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、 潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結会計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)
四半期純利益(百万円)	768	1,022
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(百万円)	768	1,022
普通株式の期中平均株式数(千株)	45,042	45,041

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

平成23年10月11日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額 450百万円

(ロ) 1株当たりの金額 10円

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日 平成23年11月9日

(注) 平成23年8月31日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成22年10月7日

株式会社ダイセキ  
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 水野 裕之 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 伊藤 達治 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ダイセキの平成22年3月1日から平成23年2月28日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成22年6月1日から平成22年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成22年3月1日から平成22年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ダイセキ及び連結子会社の平成22年8月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

追記情報

重要な後発事象に記載されているとおり、会社は平成22年9月1日にシステム機工株式会社の全株式を取得している。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。  
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。



独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年10月7日

株式会社ダイセキ  
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 高橋 寿佳 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 伊藤 達治 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ダイセキの平成23年3月1日から平成24年2月29日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成23年6月1日から平成23年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年3月1日から平成23年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ダイセキ及び連結子会社の平成23年8月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R L データ自体は含まれていません。